



— 本日のプログラム —

- ◆ロータリーソング『我等の生業』
- ◆卓話 石川県工業試験場繊維生活部
主任研究員 梶井紀孝氏
テーマ『漆を科学する』

第2809回例会（4月5日）報告

司会 山上剛史 S A A 委員長

- ◆開会点鐘 田谷昭宏会長
- ◆国歌斉唱『君が代』
- ◆ロータリーソング『奉仕の理想』
- ◆会長の時間 田谷昭宏会長
「母子の健康月間」

2014年10月 R I 理事会は、4月を重点分野：「母子の健康月間」としました。その重点目標として

- ① 5歳未満児の幼児ならびに妊婦の死亡率・罹患率の削減
 - ② 母子に対する基本的な医療サービスの提供
 - ③ 保険従事者の研修や母子保険に関連した専門職に対する支援
- などをあげています。

毎年、5歳未満で命を落とす子供たちは、世界で推定590万人。いまだに毎日約17,000人の5歳未満児が命を失っています。その原因は栄養失調、適切な医療や衛生設備の欠如など、どれも予防が可能なものばかりです。

すべての母子が質の高い医療を受けられるよう、そして、出産で命を落とす母親がいなくなるよう、子どもがすくすくと成長できるように、ロータリーは支援活動を行っています。

現在、高水準な医療技術により日本の周産期死亡率や妊産婦死亡率は極めて低く、世界的にもトップレベルで母子の健康は守られています。

日本人の平均寿命は世界一を誇っていますが、これは母子保険の充実により乳幼児、新生児の死亡率が大きく低下したことが、寿命を延ばした要因の一つと言われています。死亡率低下の要因には「母子健康手帳」があります。この手帳は1947年に母子保健法に基づき交付されました。特徴は妊婦中から子供が満6歳になるまでのあいの母子の健康や治療、検診、保険指導などの履歴を記録します。母子手帳1冊で今までの健康状態を一貫して把握できるのが最大の特徴です。もともとは日本独自のシステムでしたが、手帳の使用により乳幼児の死亡率が低下したことが実証され、現在、日本の「母子健康手帳」をモデルにして手帳は、世界80カ国で活用されています。

しかしせっかく母子ともに健康で生まれてきても一方で、マタニティーハラスメントや産後うつ、ワンオペ育児、DV、児童虐待など問題は残っています。

ユニセフは死亡率に関する推計値（新生児死亡率、乳児死亡率、5歳未満児死亡率など）を世界子供白書に毎年掲載しています。

出生1000人当たりの5歳未満児死亡率が100人以上の国は、12ヶ国ありその全てがアフリカです。50～100人はアフリカ（29カ国）、中東、インド、パキスタン、東アジアです。一方、OECD加盟国はほとんど、5人以下で日本は3人です。

国連で採択された（2015年）持続可能な開発目標（SDGs）では、全ての国の5歳未満児の死亡率を出生1000人あたり25人以下にすることが示されました。

◆幹事報告 池端速雄幹事

- ・ガバナーマンスリー4月号が届いています。
- ・吉安RC 邱会長より台湾東部沖地震の御見舞に対する返信のメールが届いております。橋や道路の一部が崩壊しましたが、花蓮地区の会員は全員無事との事です。
- ・4月12日(火)の例会は穴水RCとの合同例会の為、4月22日(金)に変更となります。詳細は事務局よりFAX。
- ・4月19日(火)と26日(火)の例会は輪島商工会議所507号会議室で開催します。
- ・本日の理事会で社会奉仕委員会の予算15万円をウクライナ支援としてロータリー災害救援基金に寄付する事になりましたのでご報告致します。
- ・クールビズは例年通り5月1日より実施します。

◆委員会報告

◎ロータリー財団委員会 片山一朝委員長

- ・ウクライナでの戦争被災者のために災害救援基金を設立、1人100ドルの寄付をお願い致します。

◎次年度幹事報告 大向洋紀副幹事

- ・4月17日(日)に富山市で2610地区の次年度地区研修協議会が開催されます。参加者は午前8時までに市役所前三角州に集合して下さい。
- ・次年度委員会構成が出来ましたので確認をお願いします。地区研修協議会終了後に順次、各委員会を開催し予算・事業計画を提出して下さい。

◎親睦活動委員会 徳野喜一郎委員長

- ・親睦旅行の計画案が承認されました。5月24日(火)・25日(水)の一泊で群馬県・伊香保温泉と榛名湖・美ヶ原高原の旅です。一人でも多くの参加をお願い致します。

◆出席報告 山 昌平出席・ニコニコBOX副委員長

4月5日の暫定出席率：75.00%
(出席21名、欠席7名)
3月15日の確定出席率：100%
(出席22名、欠席6名、マーク加算6名)

◆ニコニコBOX報告 畝 和弘委員長

- ・羽村様ようこそRCへ、卓話宜しく。 田谷昭宏会長
- ・羽村様ようこそRCへ、卓話宜しく。 畝 和弘会員
- ◆卓話 子育て健康課発達支援室係長 羽村 龍氏
テーマ『子供の自己肯定感を育む地域づくり』

◆閉会点鐘 田谷昭宏会長

〔編集：片山一朝会員〕